この議会報告は毎月月初めに発行しています　　好きです　亀山　住みよい街に

2018年　9月　2日　発行　№　232

こうきの議会報告

日本共産党亀山市議会議員　服部　孝規
〒519－0156　亀山市南野町6－19－1
ご意見、ご感想は　電話、FAX　0595－82－3646
E-mail　kouki@za.ztv.ne.jp　市議団ホームページ　「共産党　亀山」で検索を

市民アンケート結果で櫻井市長と懇談

猛暑にゲリラ豪雨、次々と発生する台風とこの夏は息つく暇もないぐらい異常気象が続きました。子どもの頃に、「日本は温暖な気候で四季がある」と習ったことがウソのようです。わずか60年ほどの間にです。地球温暖化を止めないと・・・。

さて、5月から6月にかけて党市議団（服部こうき、福沢みゆき）が実施した市民アンケートですが、約400通の返信がありました。ご協力いただいたみなさんに感謝致します。ありがとうございました。

党市議団は、このアンケートでいただいた声を市政に反映するために、8月20日に櫻井市長と懇談しアンケート結果を伝えるとともにアンケートで寄せられた切実な声を市政に生かすことを申し入れました（左の写真は市長と懇談の様子）。

櫻井市長は、「こうしたアンケート活動には敬意を表したい。」と述べるとともに、「来年度の予算編成の参考にしたい。」と述べました。

医療センターの病院事業管理者や院長らと懇談

また、市民アンケートでは医療センターの充実を求める声が多く、議員団のもとにも市民の方から様々な声が寄せられています。そこで、7月13日に医療センターの伊藤病院事業管理者や谷川院長、瀬川副看護部長、古田地域医療部長と懇談し、寄せられた声を一つずつ説明し改善を求めました。懇談の中で、医療センターとしてすぐに改善できるものは取り組んでもらうことになりました（右の写真は懇談の様子）。

「こうきの議会報告」が早いもので２０年に

初当選した1999（平成11）年5月に発行を始めた『こうきの議会報告』がこの号で232号となり、早いもので20年目に入っています。発行を始めた当時は、こうしたお知らせは紙媒体が中心でしたが、今ではインターネットの急速な普及でSNSなどが大きな比重を占めるようになりました。

また配布方法で新聞折り込みを活用していますが、最近、新聞を購読する人が減る一方で、特に若い世代に読んでもらうのが難しくなってきています。「10年ひと昔」と言いますが、この20年間の急速な変化は「隔世の感」がします。

予告　10月号は11月に合併号で発行

そういう変化の中でも毎月、読んでいただいている読者の方も多くみえます。先日、議員団が行った市民アンケートでも激励の声を多くいただきました。これから何年発行できるかわかりませんが、市政や議会の様子をしっかりと伝えていきますので引き続きご愛読をお願いします。

（お断り）来月10月号は、都合により10・11月号として11月に発行します。議会が9月末まであることや10月が忙しくなるため、やむなくこうした措置をとることにしました。

こうきの日誌（8月1日～8月26日）

赤旗の配達、集金活動等は除く

1日　資料の整理
2日　亀山九条の会「平和のつどい」
3日　書類の整理、片付け
4日　訪問活動
5日　相談活動
6日　野村まち協盆踊り
7日　産業建設委員会　党会議
8日　相談活動
9日　訪問活動
10日　武田参議院議員が風力発電で亀山へ
　市長や「加太の自然を守る会」と懇談
11日　旧佐野家住宅開館セレモニー
　亀山ナンバーワンOBナイター
12日　訪問活動
13日　党支部会議
14日　党会議　相談活動
15、16日　市民アンケート結果のまとめを届ける
17日　議会運営委員会（傍聴）　全員協議会
18日　相談活動　ポスター貼り
19日　後援会「川遊び教室」　議会報告づくり
20日　市民アンケート結果で市長と懇談
　産業建設委員会
21日　党会議
22日　議会報告づくり
23日　亀山駅周辺整備事業対策特別委員会
24日　本会議（開会）　予算決算委員会理事会
25日　選挙対策会議　議会報告づくり
26日　訪問活動

この議会報告についてのご意見、ご感想をお寄せください

風力発電で懇談と視察　武田参院議員が亀山へ

8月10日の午後、日本共産党の武田良介参議院議員と島津幸広前衆院議員らとともに風力発電問題で櫻井市長と懇談し、その後、加太に向かい「加太の自然を守る会」の人たちと懇談し、加太から計画地の山々を眺め、意見交換をしました。

櫻井市長　過去の市と市民の共同の歴史を熱く語る

櫻井市長からこれまでの亀山市と市民が共同して計画を断念させた過去の風力発電計画や鈴鹿の山を鉱物の採掘で壊す計画をことごとく止めてきた経緯が説明されました（左の写真は懇談の様子）。その上で今回の風力発電計画について、これまでの亀山の自然環境を守る取り組みを引き継ぎながら計画地が「鉱区禁止区域」であり、「環境林の整備地域」だと述べ、「大切な自然環境を保全することに換えて、なお再生可能エネルギーの確保が必要かといった観点」から「慎重に対応する」旨の考えを表明されました。

武田議員　住民合意のない事業は中止を

武田参議院議員は、「櫻井市長から力強い言葉を聴くことができた」と述べ、原発をやめて再生可能エネルギーの普及を図るというのが党の基本方針ですが、今、全国各地で進められている住民合意もなく自然環境を破壊する乱開発による事業の推進には反対であることを述べました。

その後、加太に向かい「加太の自然を守る会」のメンバーと懇談をしました。会のメンバーから運動を起こすことになった経緯やこれまでの取り組み、加太の風力発電の抱える問題点や今後の取り組みなどについて意見を聴かせてもらいました（右は計画に基づくイメージ図）。

武田参議院議員は、「住民合意のない事業は認めないとの声をあげる住民運動が国会の論戦でも大きな力になる」ことや「環境アセス法の改正など住民合意のない事業をやめさせるよう国会で頑張っていきたい。」と力強く語りました。

最後に加太のまちから計画地の山を見て、さらに意見交換をしました。兎に角、暑い一日で駆け足のような行動でしたが、有意義な懇談と視察ができました。色々と準備いただいたみなさんに感謝します。

市民団体が図書館の駅前移転の撤回を求めた

新聞でも報道されましたが、8月17日に「より良い図書館をめざす会」という市民団体が、服部教育長に「図書館整備基本計画」についての要望書を手渡しました。「より良い図書館をめざす会」とは、昨年、教育委員会が市民の意見も聞かずに一方的に図書館の亀山駅前移転を決めたことに対して市民が急遽、立ち上げた市民団体です（上の写真は亀山市立図書館）。

「市民合意が得られていない」との指摘

要望書では、まず「図書館整備基本計画」について評価できる点を4点あげ、その上でより良い図書館づくりのために、大きく3点の要望をしています。まず最初に「場所の選定について」－「**駅前移転についての市民合意が得られていない。駅前移転については撤回し、現在地での建て替え、整備についての検討を行い、その経過を市民に明らかにする**」ことを求めています。

市民アンケートでも7割が「現在地での建て替え」

この点は、私達議員団が行った市民アンケートでも7割の方が「現在地での建て替え」を求め、「駅前移転を進めるべきだ」と回答した人はわずか13％だったことと一致します。

市は決定したからと強引に押し進めるのではなく、白紙に戻し市民の声を聴くことが求められています。

亀山駅周辺整備事業

46億円が50億円に　またも計画の変更

8月23日に亀山駅周辺整備事業対策特別委員会が開かれました。その中で総事業費が46億円から50億円に増加したことが明らかになりました。これは亀山新橋の架け替え（3億5千万円）が新たに追加されたためです。また、狭い御幸7号線（右の写真）の拡幅なども事業費は未定ですが追加されています。

その上、10月に策定予定の基本設計ができればまた計画が大きく変わることも考えられます。マンションもいつの間にか最大60戸になるなど計画が次々と変更になっています。これほどまでに「ぶれる計画」では地域の人たちの不安が募ります。